

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	長崎地区及びその周辺の研究機関（医療機関）を急性呼吸器感染症（ARI）により受診した高齢者を研究対象としたRSウイルス（RSV）による疾病負担を評価するための、前向き、多施設共同、疫学研究：Nagasaki ROAD study
研究責任者（所属名）	佐々木 英祐（呼吸器内科）
本研究の目的	日本でのRSVおよびその他のウイルス感染症に関連する呼吸器疾患の状態（入院や合併症などについて）を調査することを主な目的として行います。また、今回の研究では、RSVおよびその他のウイルス感染が医療サービスや生活の質（QOL）にどのように影響するかについても調査します。
調査データの該当期間	1年目：2024年4月から 2025年3月まで 2年目：2025年4月から 2026年3月まで
研究の方法 （使用する試料等）	研究開始時（1日目）に来院していただきます（「来院1」）来院1に、研究スタッフは、あなた自身のこと、あなたの健康状態について（入院有無、合併症の状態、病歴を含む）、使用する交通機関（自家用車、タクシー、その他の交通手段）、勤務状況、予防接種歴（COVID-19 [新型コロナウイルス] ワクチン接種を含む）、現在服用している薬についてなどを質問します。来院1に、あなたの呼吸の状態を評価するため、研究の担当医師による聴診を受けていただきます。体温と血中酸素濃度も測定します。来院1に、鼻や喉から検体を採取します。この検体は医療従事者があなたから採取します。来院1（1日目）、14日目（10日目～18日目までの任意の日）、180日目（170日目～190日目までの任意の日）に、“SF-12 V2 質問票”という質問票に回答いただきます。SF-12 V2 質問票では、あなたの日常生活動作への支障に関する質問をします。来院1に、14日目および180日目の質問票をお渡しします。14日目および180日目の質問票は、来院時、または自宅で回答いただく必要があります。呼吸器症状がなくなった後、もしくは呼吸器症状がなくなる場合でも、回答後、必ず質問票を実施医療機関に郵送等で提出いただく必要があります。同様に、研究期間中に入院・ARIにより病院（ご参加頂く研究施設以外の他院）を受診した

	状況についての情報を確認するための質問票もお渡しします。遅くとも180日の研究終了時までには質問票を郵送等で提出いただく必要があります。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120 (代表) 担当者：佐々木 英祐
備考	